



八幡小だより 8・9月号

令和7年8月25日
八潮市立八幡小学校
児童406名 16学級

なかよし宣言

校長 小久江 桂子

長い夏休みが明け、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。大きな事故もなく元気に夏休みを過ごして下さり、ありがとうございます。とても嬉しいです。これもひとえに、保護者の皆様はもちろん、PTAの皆様、父兄の会の皆様、地域の皆様の声かけや見守り等のおかげです。友達と笑い合う子供たちの姿を見て、「やっぱり子供たちの笑顔はいいな。」と、心が温かくなりました。



さて、本校には、平成24年10月15日に児童会が作成した「なかよし宣言」があります。内容は『仲間を思いやります。自分がされて嫌なことはしません。』です。

子供たちは、この「なかよし宣言」を意識しながら、学校生活を送っています。

授業中や休み時間、あいさつ、給食の準備、掃除等、その全ての場面が、思いやりの心を育てる大切な学びの時間です。教職員も日々、子供たち一人一人の良さを励まし、子供たちの声に耳を傾け、子供たちに心を配っています。

例えば、友達に優しく声をかけた子を見逃さず「今の言葉は、嬉しいね。」と、その行動を認める。休み時間にけんかが起きた時には、ただ注意するのではなく、相手の気持ちを考える機会に変える。こうした積み重ねが、子供たちの思いやりの心を育てていきます。

9月は「いじめゼロ強化月間」です。

心遣いは目には見えません。でも、仲間を思いやる心は、たしかに伝わります。たとえば、困っている友達にそっと近づく足音、落とした消しゴムを拾ってくれる手、何も言わずに隣にいてくれる時間。こうした一つ一つの心遣いは、いじめをなくすための大切な土台になります。

いじめのない学校とは、こうした優しい思いやりの心遣いが自然とあふれる学校だと思います。優しさを行動にうつすこと、見えない思いやりの心を大切にすること、このことが、みんなが安心して笑顔で過ごせる学校をつくと、私は考えます。

2学期も、『心遣いは見えないけれど、思いやりの心はたしかに届く』ということを感じて、お互いに優しさを持ち寄りながら、みんな笑顔の八幡小学校をつくっていきたいと思います。



今年度も八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)